

徳島大学大学教育研究ジャーナルへの論文等の投稿等について

令和 2 年 6 月 1 1 日
徳島大学 F D 委員会決定
改正 令和 3 年 6 月 8 日
令和 4 年 6 月 1 4 日
令和 5 年 7 月 1 1 日
令和 8 年 7 月 1 4 日

1 論文の内容

徳島大学大学教育研究ジャーナル（以下「ジャーナル」という。）に投稿できる論文は、F D 研究及び F D 活動を中心とする高等教育に関する教育研究の成果物とし、独創的で、未発表のもの（投稿中のものを除く。）とする。ただし、口頭発表及びその配付資料はこの限りでない。

2 投稿資格

投稿資格は問わない。

3 執筆要領

(1) 論文は、次の種類に分類する。

- ア 総説 大学教育に関する重要な課題についての文献や研究成果などをレビューするものであり、大学教育に対する具体的な示唆を与える論考
- イ 原著 大学教育に関する新しい研究成果をまとめた著述であって、独創性、新規性、発展性のあるもの
- ウ 報告 大学教育の実践に関する実施報告又は有用な実践事例を記述したもの
- エ 資料 調査などによって得られた各種データをまとめたもので、今後の研究・開発・応用等にとって有用な資料となるもの

(2) 論文の 1 ページ目には、論文の種類、表題、著者名、所属、和文キーワード（3～5 つ）、英文表題、英文著者名、英文所属及び英文キーワード（3～5 つ）を記載する。

(3) 論文は、本文の前に、日本語の要約（400 字以内）及び英語の要約（200 語以内）を記載する。

(4) 英語の要約は、事前に、第一言語が英語で、信頼できる人物による校閲を受けておくこととする。英文表記については、徳島大学大学教育研究ジャーナル編集専門委員会（以下「編集専門委員会」という。）で修正することがある。

(5) 共著者は、その論文の内容に責任をもつ協力者に限られる。単なる補助者、部分的協力者は、共著者とはせず、必要であれば脚注又は謝辞において氏名を明記する。

(6) 原稿は常用漢字、現代かなづかいを用い、横書きとし、数字は算用数字、年号は西暦を用いる。

(7) 本文の長さは、種類を問わず、図、表、引用文献、英文要約、キーワードなどを含み、A4 用紙（縦置き）で 20 頁以内とする。ただし、編集専門委員会において特に必要と認めた場合はこの限りではない。

(8) 本文は原則として、2 段組とし、1 枚の字数は 1 段 22 文字×42 行（1 頁約 1,800 字）で、余白は、上下 25mm、左右 20 mm とし、段組みの間は 2 文字とする。

(9) 本文の文字は、MS 明朝体 10.5 ポイントとする。表題は、MS ゴシック体 16 ポイント、副題がある場合は 14 ポイントとする。章節項等の見出し及びキーワードは、これに含まれる半角英数字を含め、MS ゴシック体 10.5 ポイントとする。また、英文の表題は、Century Gothic 11 ポ

イント、要約は同9ポイントとする。表題や見出し、表や図のタイトル以外の本文中の英数字は、Times New Roman 10.5 ポイントとする。

- (10) 句読点は、和文は句読点コンマ(,) マル(。)、欧文はコンマ(,) とピリオド(.)を使用する。
- (11) 表題は、できるだけ簡潔につけることが望ましい。一連の研究の場合でも、番号の異なる同一表題は好ましくない。副題は、全角2倍ダッシュ(―)を前後につける。
- (12) 英文キーワードは、固有名詞などのように大文字を使う必然性がある場合以外はすべて小文字で書き、略語を使わない。
- (13) 章節項等の見出しの上は1行空ける。また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述する。
- (14) 見出しは、算用数字(半角)で番号を付ける。
見出しの中項目以降の表記はピリオド(半角)を付して、適宜番号を増やす形で構成する。小見出し以下の数字の横には見出しの内容との間に全角スペースを1つ入れる。見出し内の英数字には半角を用いる。
(例)
 - 1. 見出しabc123
 - 1.1 小見出しabc123
 - 1.2 小見出しabc123
- (15) 表や図の番号は、表1、図10(番号は半角数字)のように振る。番号を振った表の題は表の上の中央に置き、番号を振った図の題は図の下中央に置く。表や図の題はMS ゴシック体 10.5 ポイントとする。
- (16) 表や図の題はできるだけ簡潔にし、表や図の説明文は本文中に記載する。
- (17) 表や図は鮮明なものをを用いることとし、本文にくらべて大きな紙面を要するため、厳選し、必要なもののみを効果的に使用する。
- (18) 表や図の作成に当たってはカラー又はグレースケールで作成する。また、大外の枠、外枠、背景色、目盛線はつけない。
- (19) 表中の線はできるだけ少なくし、適当にスペースをとる。縦罫は最小限として、斜線は用いない。
- (20) 表の項目は、左揃えとする。数値は、有効数字を考慮して表記する。また、数字は小数点の位置、小数点以下の桁数を揃える。
- (21) 写真は、図と同様に扱う。写真を掲載する場合には、個人が特定できないものを使用する。ポートレートは、被写体に了解が得られた場合のみ、掲載する。
- (22) 外国の人名、地名などの固有名詞は、原則として原語を用いる。
- (23) 注は、本文中、引用箇所の直後に右上付きでのように記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載する。
- (24) 参考文献は、必要最小限にとどめ、本文中、引用箇所の直後に「(著者の姓, 西暦年)」を記入する、または本文中に文章として入れる場合は「著者の姓(西暦年)」を記入し、注の後に一括して「参考文献」の見出しをつけ著者の姓のアルファベット順にまとめて記載する。共著の場合の著者名については、2人の共著は「1人目著者の姓・2人目著者の姓」と記載し(欧語の場合は「・」ではなく「&」とする)、3人以上の共著は「1人目著者の姓ほか」と記載する(欧語の場合は「ほか」ではなく「et al.」とする)。同時に複数の参考文献を引用する場合、同一著者の文献は、「(著者の姓, 早い文献の西暦年, 遅い年の西暦年)」たとえば(山田, 2017, 2018)のようにカンマで区切る。同一年に複数の文献がある場合は、西暦年の後にa, b等を付け区別する(「参考文献」においても同様)。異なる著者の文献は「(著者の姓, 西暦年; 著者の姓, 西暦年)」たとえば(溝上, 2014; 山田, 2018)のように著者の姓のアルファベット順に記載し、セミコロンで区切る。
- (25) 文献の記載方法は、原則として次のとおりとする。共著者名はすべて省略せずに明記する。なお、

欧語文献の記述については、原則としてAmerican Psychological Association (APA) スタイルに準じる。

- ア 雑誌論文（日本語）：著者名（西暦年）「題目」『掲載誌名』巻（号），始頁-終頁。
イ 書籍（日本語）：著者名（西暦年）『書名』出版社（者）。
ウ 書籍の特定の章（日本語）：書籍の特定の章（日本語）：著者名（西暦年）「章名」（書籍の著者・編者名）『書名』出版社（者），pp. 該当する章の始頁-終頁。
エ ウェブサイト（日本語）：著者（作成者）名（西暦年）『サイト名』（URL）（最終アクセス日：西暦年〇月〇日）
オ 雑誌論文（欧語）：著者名（西暦年）. 題目. 掲載誌名, 巻(号), 始頁-終頁. 原則として, 表記されたとおり記述すること。掲載誌名および巻はイタリック体とする。
カ 書籍（欧語）：著者名（西暦年）. 書名. 出版社および出版地. 原則として, 表記されたとおり記述すること。書名はイタリック体とする。
キ 書籍の特定の章（欧語）：著者名（西暦年）. 章名. 書籍の著者・編者名, 書籍名 (pp.始頁-終頁). 出版者および出版地. 原則として, 表記されたとおり記述すること。書籍名はイタリック体とする。
ク ウェブサイト（欧語）：著者(作成者)名. (西暦年). サイト名. (URL) (Accessed: yyyy-mm-dd). 原則として, 表記されたとおり記述すること。サイト名はイタリック体とする。

4 添付票とチェックシート

論文には、論文の種類、原稿の色、表題、著者名、所属、和文キーワード（3～5 つ）、英文表題（英文原稿ではその日本語訳）、英文著者名、英文所属、英文キーワード（3～5 つ）、別刷の必要部数及び連絡先を記載した添付票（様式1）及び投稿論文チェックシート（様式2）を各種1部ずつつける。

5 論文の投稿

- (1) 論文は、電子メールの添付ファイルとして投稿するものとする。
- (2) 論文は、「ワード」を用い、「3 執筆要領」により作成するものとする。ただし、止むを得ない理由により他の方法で作成する場合には、論文をpdf ファイルとすることができるものとし、元の原稿ファイルとともに投稿するものとする。
- (3) 論文にはページ番号を付するものとする。
- (4) 論文審査の結果、採択とされた場合には、写真、表や図などの原版を提出するものとする。
- (5) 送付先は下記のとおりとする。なお、論文の投稿期間は毎年公表する。

徳島大学学務部教育支援課教育企画係 (kykikakuk@tokushima-u.ac.jp)

6 出版権

- (1) ジャーナルに掲載された論文等の出版権は、徳島大学に帰属する。他誌及び書籍へ表や図を転載する場合は、出典を明示するものとする。
- (2) 本誌に掲載された論文等は、原則として徳島大学機関リポジトリに登録し、無償公開するものとする。

7 倫理的配慮

投稿原稿に利用したデータや事例等について、研究倫理上必要な手続きを経ていることを本文又は注に明記するものとする。また、記述において関係者のプライバシーが侵害されないよう細心の注意

を払うものとする。

8 その他

(1) 掲載料は無料とする。

(2) 別刷料はすべて実費を著者が負担する。

様式 1

添 付 票

1 論文の種類（○で囲むこと。）：

総 説 原 著 報 告 資 料

2 原稿の色（○で囲むこと。）：

白黒のみ カラーの表や図を含む

3 表 題：

4 著 者：

5 所 属：

6 和文キーワード（3～5 つ）：

7 英文表題（英文原稿ではその日本語訳）：

8 英文著者：

9 英文所属：

10 英文キーワード（3～5 つ）：

11 別刷の必要部数（必要な方のみ）：

※ 別刷の納品は4 月上旬です。来年度予算になりますので御注意ください。

※ カラー原稿はカラーでの印刷となります。

12 連 絡 先

(1) メールアドレス：

(2) 電話番号：

(3) 住 所：

投稿論文チェックシート

投稿時に下記項目について確認し、チェック欄に✓をいれる（☐）又は塗りつぶし（■）で、原稿に添付してください。原稿の体裁・様式が投稿規定に則していない場合、投稿を受け付けられない場合もあります。

項 目 確 認 事 項

項 目	詳 細	チェック欄
表 題 著 者 名 要 旨 キ ー ワ ー ド	原稿の1ページ目に、論文の種類、表題、著者名、所属、和文キーワード（3～5つ）、英文表題、英文著者名、英文所属、英文キーワード（3～5つ）を記載している。	☐
	論文は、本文の前に、日本語の要約（400字以内）及び英語の要約（200語以内）を記載している。	☐
本 文 見 出 し	本文は原則として、2段組とし、1枚の字数は1段 22 文字×42 行（1 頁約 1,800 字）で、余白は、上下 25mm、左右 20 mm とし、段組みの間は2文字になっている。	☐
	原稿内のフォント設定が執筆要領に準拠している。 ☐ 日本語表題：MS ゴシック体 16pt ☐ 日本語副題（ある場合）：MS ゴシック体 14pt ☐ 日本語執筆者名及び所属：MS ゴシック体 10.5pt ☐ 日本語要約文：MS 明朝体 10.5pt ☐ 日本語キーワード：MS ゴシック体 10.5pt ☐ 英語表題：Century Gothic 11pt、太字 ☐ 英語副題（ある場合）：Century Gothic 11pt、太字 ☐ 英語執筆者名及び所属：Century Gothic 9pt ☐ 英語要約文：Century Gothic 9pt ☐ 英語キーワード：Century Gothic 9pt ☐ 本文中の章節項等の見出し：MS ゴシック体 10.5pt（これに含まれる半角英数字も対象とする。） ☐ 本文の文字：MS 明朝体 10.5pt。ただし半角英数字はTimes New Roman 10.5pt とする。	☐
	章節項等の見出しの上は1行空けている。 また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述している。	☐
	見出しには、算用数字（半角）で通し番号を付けている。	☐
図表	表や図の番号は、表 1、図 10(半角数字)のように振られている。表や図の題は、表は上中央、図は下中央に置いている。表や図の題はMS ゴシック体 10.5 ポイントになっている。	☐
注・文献	注は、本文中、引用箇所の直後に右上付きでのように記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載している。	☐
	参考文献は、必要最小限にとどめ、本文中、引用箇所の直後に執筆要領（24）に基づき記入し、注の後に一括してアルファベット順にまとめて記載している。同じ文献を複数回引用する場合、先の番号を用いて記載している。	☐
ネイティブチェック	第一言語が英語で、信頼できる人物による校閲を事前に受けている。	☐